

## B SKI-X STK ALL

## BX 1-1 レース艇

## KAWASAKI SX-R (X用フード装着)

※排気量について

- ①いかなる改造が認められても、ボア×ストロークの変更を禁止する。
- ②スーパーチャージャー、ターボチャージャー等の過給装置は禁止する。

## BX 1-2 エンジンブロック

BX1-2-1 加工、社外品への交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

BX1-2-2 カムシャフトのタイミングは変更してよい。

ただし、当該機種純正品とし、カムシャフト本体の加工をしてはならない。

BX1-2-3 バルブスプリングとバルブスプリングリテーナーは社外品を使用してよい。

## BX 1-3 吸気系統

BX1-3-1 フレームアレスター

- ① 改造してもよい。但し純正同等のフレームアレスターを装備すること。
- ② ブローパイホースを取り付けるにあたり、パイプ・フィッティング等の改造をしてもよい。  
ただし、脱落やホースの抜けのないようにする事。
- ③ ブローパイプのホースは必ずインテーク側にもどすか閉じる事。大気開放及び船内に垂れ流しは禁止。  
社外品ホースを使用する場合は耐熱、耐油性のあるものを使用する事。
- ④ ブローオフバルブの出口には、フレームアレスターを取り付けなければならない。
- ⑤ ブローパイの出口は、インテーク側（フレームアレスターよりエンジン側）にもどすこと。
- ⑥ その他、OEMでインテーク側に取付けられている、ホース類は、インテーク側に取付けること。

BX1-3-2 スロットルボディー

純正品とし、加工、改造してはならない。

BX1-3-3 フューエルプレッシャーレギュレーターは社外品、または改造してもよい。

BX1-3-4 フューエルポンプは純正品を使用しなければならない。

(脱落、分解防止の補強のみ加工してもよい)

## BX 1-4 燃料系統

BX1-4-1 燃料システム

- ・閉鎖システムとし、常にどの様な角度でも外に漏出さないこと。
- ・燃料供給量を調整するための改造をしても良い。
- ・圧力のかかる燃料ラインを改造する場合、圧力が上昇しても抜けない構造とすること。ホースを差し込んだ状態で結束バンドのみで締め付ける方法はこれを禁止する。

燃料ポンプは改造してはいけない。

BX1-4-2 リリーフバルブ（チェックバルブ）

メーカー純正品を追加しても良いが、配管レイアウトは純正同様とする。

BX1-4-3 タンクキャップ

社外品と交換しても良い。

BX1-4-4 フューエルインジェクター

改造してはならない。

BX1-4-5 燃料ホース

メーカー純正品。

メーカー純正品と同等以上の耐油性、耐熱性、耐圧性のあるガソリン用ホース。

(場合により品質の証明ができる書類等の提示を求める)

BX 1-4-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

## BX 1-5 排気系統

BX1-5-1 排気出口カバーは、取り付けなければならない。ただし、フラップ使用時に干渉する場合に限り取り外すことができる。

BX1-5-2 エキゾーストシステムは、純正品でなければならない。ただし排気温度センサーは、取外し、または機能を停止してよい。

BX1-5-3 エキゾーストホースの内径を縮める為にインサートを加えてもよい。

BX1-5-4 以前に穴あけやタッピングされたエキゾーストマニホールドは穴埋めや閉栓をする事により使用してよい。

BX1-5-5 **フィルターマフラーコンプは取り外してもよい。**

BX1-5-6 ウォーターボックス  
一切の加工を禁止する。

**修理は行っても良い（但し、事前に届け出をし、単体にてインスペクションが必要）**

BX1-5-7 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

## BX 1-6 冷却及び排水系統

BX1-6-1 冷却ライン

全て純正品、純正レイアウトのままとし、一切の改造をしてはならない。

BX1-6-2 水洗キット、ビルジドレンシステムは改造してもよい。

**注）ただしエンジンルーム内に油分の漏れ等の可能性のある艇については、電動ビルジポンプや負圧式ドレン（例 ダックビル）は使用をしてはならない。水面への油漏れはペナルティーの対象となり得る。**

電動ビルジポンプを取り付けてもよい。

ドレンコックは位置を移動してもよい。

冷却作業中に、水の流れを変更する為の手動式制御装置は取り付けしてはならない。

BX1-6-3 バイパスフィッティング

① 純正品を使用し、改造、加工してはならない。

② 排水出口は、他ライダーに危険の生じる事の無いように、下方・後方に向けなくてはならない。

BX1-6-4 その他、加工、交換、改造はしてはならない。（一般補修部品は除く）

## BX 1-7 電気系統

BX1-7-1 電源スイッチ

追加してもよい。

BX1-7-2 イグニッションシステム

① **コントロールユニット（ECU）は純正 ECU を使用し書き換えのみの加工をしてもよい。**

② **点火タイミング変更用の手動式スイッチを追加してもよい。**

③ **パルシングローター、パルシングカバーは改造してもよい。**

④ **純正コネクタに接続できるものであればリミッターを解除するものをつけてよい。**

BX1-7-3 スタート・ストップスイッチアッセンブリー

**改造してもよい。**

BX1-7-4 **アース線**

**追加してもよい。**

BX1-7-5 追加センサーは認めない。 エンジン温度センサーは作動しなくても良い。

**BX1-7-6 その他加工、交換、改造は禁止する。（一般補修部品は除く）**

**BX1-7-7 バッテリー**

バッテリー及びバッテリーボックスは社外品を使用してもよい。

バッテリーについて、現在（2022年1月）JCIでは水上オートバイにリチウムイオンバッテリーの使用は禁じられている為、その使用は不可とする。

今後、JCIから認可の出るものがあつた場合は搭載を許可する。

バッテリーボックスは改造追加及び、移動しても良い。

但し、バッテリーがフィットし安全に固定されていること。

## **BX 1-8 艇体系統**

**BX1-8-1 デッキ**

純正品を使用しなければならない。修理は標準形状より2mm以上変更してはならない。

内側は自由に補強しても良い。（軽量化の為の切削加工・形状変更は禁止）

内側の面に部品を固定するための締め具は、貫通して取り付けても良い。

但し、外側に2mm以上突出してはならない。

社外品の電気系スイッチや、メーター類を取り付けても良い。

**BX1-8-2 ハル（バンパーより下部の船体）**

表面（外側）は修理しても良いが、純正形状より2mm以上変形してはならない。

**BX1-8-3 危険を生じるフィン、ラダー、他の付加物は、取り付けてはならない。**

**BX1-8-4 燃料タンク台の発泡体は、容積20%までカットしてもよい。ただし、代わりの浮体を船内に取り付けなければならない。**

**BX1-8-5 フード内吸気チューブは、一部カットしてもよい。**

**BX1-8-6 改造または部品の取り外しにより、エンジンルームの通気口となる孔は、塞がなければならない。**

**BX1-8-7 スポンソン・フロントエクステンション**

**フロントエクステンション（以前のフロントスポンソン）は容易に取り外しの可能なボルトオンタイプのもの。**

**フロントエクステンションは左右で1対。**

**スポンソン（縦方向にフィン、羽状の物）は左右2対までとする。**

1. スポンソン、ブラケットはどれもボルトオンで容易に着脱可能であること。
2. 各スポンソンとフロントエクステンションの全長は各**126mm**を超えてはならない。
3. スポンソン本体の幅（縦）は**50mm**以上、フィン（羽）の厚さは**6mm**以上とし、全ての全縁は危険を引き起こさないように丸みを帯びている必要がある事。
4. 片側にスポンソン・フロントエクステンションが取り付けられている場合、フロントエクステンションは船体に付着している必要があり、スポンソン・フロントエクステンション合計の全長は**153cm**を超えてはならない。
5. スポンソン（フィンの部分）は、ベースより、下側に**52mm**を超えてはならない。
6. スポンソン本体の材質は金属製でもよいが危険を生じないよう丸くすること。
7. バンパー外側のラインからはみ出さないこと。
8. 取付けボルトは突出せず、ナベ頭型トラス頭型など危険のないものとする事。
9. ボンドフランジより、外側にスポンソンを取り付けは不可。
10. ボンドフランジの内側にスポンソンを取り付けることはできますが、スポンソンはボンドフランジ（バンパーを取り外した）より、はみ出してはならない。
11. フィン、ラダー、ウィングなど危険を引き起こす可能性のある付属物は不可。

## 1 2. ハル滑走面への取付けは禁止する。

### BX1-8-8 バンパー

改造しても良い。但し、材質・形状及び取り付け方法は純正同等とし、ボンドフランジ側面全周をカバーしていること。

### BX1-8-9 パッド・マット類

改造しても良い。但し、純正同様に取付いていること。

### BX1-8-10 ステップキット

取付けても良い。但し、全体をマットなどで覆うこと。

### BX1-8-11 スプラッシュガード

- ・ボンドフランジの内側に取付けても良い。
- ・材質は柔らかくしなやかであること。
- ・バンパー外側のラインからはみ出さないこと。

### BX1-8-12 浮力材

- ・改造しても良い。また、取外しても良い。
- ・沈船しない対策を取ること。
- ・燃料タンク下の浮力材は、取付いていること。

### BX1-8-13 換気チューブ、ダクト

改造しても良い。但し、沈船しない対策を取ること。

### BX1-8-14 フード

改造しても良い。フードを留めるためのラッチ等を追加して取付けても良い。但し、危険のないものとする。

### BX1-8-15 バランスウェイト

取付けても良い。但し、安全に固定されていること。

### BX1-8-16 トリムタブ／フラップ

- ・ハルのトランサムに取り付けても良いが、以下の項目に適合していること。
- ・トリムタブ下面とハルの滑走面は、平滑であること。
- ・ハルの滑走面の横幅を越えてはならない。
- ・バンパー外側のラインよりはみ出してはならない。
- ・外側の側面の厚みは、10 mm以上とする。
- ・滑走面の幅以下で、100mm 以下である必要があります。
- ・可動式でも良い。
- ・フィン、ラダー、スケグ等他の付加物は取付けを禁止する。

### BX1-8-17 排気口

カバーは改造しても良い。

排気口の位置はバンパーより下方。船体を水上に浮かべた際に水面下にあること。

ボンドフランジより外側に張り出してはならない。

### BX1-8-18 曳航ロープ

バウアイに、直径約 20 cmの輪のロープを取付けること。

### BX1-8-19 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）

### BX1-8-20 船体重量 フードを外した状態で 2 1 0 Kg 以上(エンジンオイルは含む)

ガソリンに関しては残量に応じて減算いたします（簡易計算 1L=1Kg）

参照) SX-R の燃料タンク容量は 2 3 L

## BX 1-9 ハンドル系統

---

### BX1-9-1 ハンドルバーコンブ

固定式ステアリングマウントシステムへ改造しなければならない。

- ・ハンドルにクロスバーがある場合は、クロスバーにパッドを取付けること。
- ・グリップガードは取り付けでも良い。
- ・ハンドルを固定するための、ステアリングシャフト、シャフトホルダー、バーホルダー、バーホルダーカバーは追加しても良い。
- ・グリップエンドのアルミなどの付属品は可。但し危険性のないもの。

### BX1-9-2 ケーブル類

改造しても良い。

### BX1-9-3 スロットルレバー

改造しても良い。

### BX1-9-4 ハンドルポール

ハンドルポールコンブは取り外さなければならない。

ブラケットは取り外しても良い。

### BX1-9-5 ハンドルダンパー

取り付けでも良い。

### BX1-9-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

### BX1-9-2 ケーブル類

改造しても良い。

### BX1-9-3 スロットルレバー

改造しても良い。

### BX1-9-4 ハンドルポール

ハンドルポールアッセンブリーは元の設計通りの機能を残すように改造しても良い。

- ・ブラケットは、改造しても良い。
- ・スプリングは、改造しても良い。

### BX1-9-5 ハンドルダンパー

取り付けでも良い。

### BX1-9-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

## BX 1-10 ポンプ・ドライブ系統

---

### BX1-10-1 ポンプノズル・ステアリングノズル

改造しても良い。

- ① ベーンガイドからステアリングノズルまでの全長は純正品より 50mm 以上長くしてはならない。
- ② チルト装置は、取り付けでも良い

### BX1-10-2 ベーンガイド

純正品を使用し、改造、修理してはならない。

### BX1-10-3 ポンプキャップ

改造しても良い。

### BX1-10-4 インペラー

改造しても良い。

### BX1-10-5 インテークグレート(スコープゲート)・インテークガイド

改造しても良い。但し以下の項目に適合していること。

- ① ドライブシャフトと平行で取水口全体を覆うバーを1本以上備えている。
- ② 前方に突出している部分は、半径10mm以上の曲面である。
- ③ 両サイドの船底からの突出しは、12mm以内とする。
- ④ 吸水板はバーと船底とを結んだ線から、外側にはみ出さないこと。
- ⑤ 全ての全縁は、危険を生じないように、丸くすること。

#### BX1-10-6 ポンプカバー（ライドプレート）

改造しても良い。

- ① 板厚は5mm以上とする。
- ② 純正品の幅を超えてはならない。
- ③ 当該機種純正品より100mmまで延長してもよい。
- ④ 全縁は突起や鋭角な箇所がないよう、丸くすること。
- ⑤ カバーのオモテ面（滑走面側）はカバーのチェーン部を平行に結んだ線よりはみ出さないこと。
- ⑥ フィン、ラダー、スケグなど危険を引き起こす可能性のある付属物は不可。

BX1-10-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

### BX 1-11 一般補修部品

BX1-11-1 一般補修部品とは以下のものを指し、社外品と交換しても良い。但し、純正品に準ずるものとし、仕様変更（例：純正ベアリングゴムシールド形⇒解放形）は禁止する。

- ① ガスケット類 ② バッテリー (BX1-7-7 参照) ③ スパークプラグ ④ プラグキャップ  
⑤ ハイテンションコード ⑥ 配線類 ⑦ 冷却ホース ⑧ クランプ ⑨ ボルト  
⑩ ナット ⑪ ワッシャ ⑫ 結束バンド ⑬ ベアリング ⑭ オーリング ⑮ オイルシール

※上記以外のもので一般補修部品に該当するか不安な場合は所定の書式をもって事務局へ問い合わせること。

BX1-11-2 磨耗して無くなったネジ山は、修理しても良い。

